

本校は、危機管理体制の改善と充実に努め、安全で安心な教育環境の充実に努めるためにさまざまな活動に取り組んでいます。そこで、今年度も防災だよりを発行し、学校の取組などをお伝えします。学校 HP にも掲載しますのでそちらもごらんください。

○ 本校の取組(4~6月)

○ 4月 緊急時対応訓練

転倒や呼吸状態の悪化などにより、児童生徒の緊急搬送が必要になった場合を想定し、訓練用人形を使い、療育センター搬送までの訓練を学部ごとに実施しました。



症状の把握



センターへの搬送



療育センターでの待機



雨天体験

○ 4月 避難訓練(風水害)

『雨が降り続き、災害の危険性が高まったため、授業を中止する』という想定で実施し、一次避難で体育館に集合しました。

その後、通学生は他施設や他校への避難が必要になった場合の訓練を行いました。医療的ケアが必要な児童生徒は、本校職員や看護師とともに療育センターへの避難を体験し、その他の通学生は他校への避難を想定して、ふれあい広場を横断しての雨天体験を行いました。雨天体験をとおして、雨天時の避難には傘よりカッパやポンチョが良いのではという意見が多く出されました。

また、療育センター生は集団での下校訓練を行いました。

○ 5月 福祉ゾーン6施設合同防災訓練

『震度6強の地震が発生。停電、放送は使えない、裏山の状態の確認が必要』という想定で6施設(本校、みなみのかげ支援学校、療育センター、ひまわり学園、リハビリテーションセンター、保健福祉専門学校)合同で防災訓練を行いました。

ボトルキャップを廊下にまき広げ、大地震後の物が散乱した状態の代用として設置するなどし、起きた様々な状況にどう対応すべきか考えながら行動しました。

合同訓練ということで、ゾーン内施設間で連携した活動も取り入れました。約20名の保健福祉専門学校生が本校に駆けつけ、児童生徒の避難に力を貸してくださいました。また、療育センターへの二次避難(療育センター生・医療的ケアが必要な児童生徒)や、みなみのかげ支援学校への二次避難(通学生代表者)体験も実施しました。



廊下に広がるボトルキャップ
(がれきの代用)



5月にPTA活動で防災ずきん作成会も行われました。今回の訓練では、ずきんをかぶって避難する児童生徒がふえました。

○ 6月 引き渡し訓練

実際に引き渡しが必要になったときの状況に近づけるため、今年度も保護者の皆様には車でのご待機をお願いし、防災メールで連絡を行いました。体育館での引き渡し活動を行い、基本的な手続きの手順などを確認することができました。保護者の皆様、御協力ありがとうございました。

(防災メール発信)

体育館ステージ横から防災メールを発信しました。



今年度、引き渡し訓練や台風接近時の連絡を防災メールで発信しています。今後も活用していく連絡ツールです。登録の御確認をお願いします。



防災メール

(引き渡し)

カードを使って照合し、引き渡しを行いました。



○ 帰宅困難となった場合に備えて

6月18日の早朝の大阪での地震は、日を増すごとに大きな被害の状況がニュースで報じられました。宮崎も大丈夫だろうかと不安な方も多いことと思います。

PTA 総会などでもお知らせしていますが、本校では非常時に備えて、備蓄品を数年前から増やしています。PTA からもバザーの益金から拠出していただいています。

6月の参観日に引渡し訓練を実施しましたが、地震や台風などで道路が寸断されると、帰宅が困難になり、待機が必要になることも考えられます。食事・睡眠・排泄・医ケアをどうすればよいか、何を準備しておけばよいかチェックをしておきましょう。

○ ちょっと情報

「宮崎市44%、鹿児島市18% 大分市55% 熊本市7%、
福岡市8%、佐賀市8%、長崎市2%、徳島市73%、
高松市(香川県)63%、松山市(愛媛県)46%、高知市75%・・・

Question : これば、いったい何の数字でしょう?

Answer : 先日発表された今後30年以内に震度6弱以上の地震が来る確率(日本全国地震動予測地図 2018)です。

「明日、地震が来るかもしれないし30年後かもしれないけども地震がくるのは間違いないです。」

「大阪北部地震のような震度6弱の揺れは、日本全国どこでも発生する可能性がある。」とのコメントもありました。いつ起こるか分からない災害。備えることの大切さを切実に感じました。